

留学生活

北京外国語大学

バクブンブン

2590017

4月1日に日本に来てから、早くも4ヶ月が経ちました。あっという間に、交換留学生活が終わろうとしています。

この間、お茶の水女子大学の先生方や学生の皆さんのおかげで、充実した4ヶ月間を過ごすことができました。

毎週のホームルームでは、先生が日本で生活する上での常識やさまざまな情報を丁寧に教えてくださり、日々の暮らしにとっても役立ちました。

また、お茶大の授業もとても興味深く、さまざまなことを学ぶことができました。中でも、日本語教育の授業では、中国朝鮮族出身の先生のもと、言語や文化について皆で議論を交わす中で、多様な視点や価値観に触れる貴重な機会となりました。ビジネス日本語の授業では、日本の職場で起こり得るケースについて学びながら、日

本人の考え方や食習慣についてより深く理解することができました。将来、日本での就職を考えている私にとって、とても有意義な学びとなりました。

図書館もよく利用し、自分の研究に関連する書籍を借りて、卒論の執筆にも大いに役立ちました。お茶大の学生との交流もとても楽しかったです。ある学生とは中国のドラマの話で盛り上がり、国を超えた共通の話題を見つけることができました。

授業以外にも、茗荷谷駅前のセブンイレブンで短期間アルバイトをしました。たった2ヶ月の経験でしたが、お店の方々に温かく迎えていただき、楽しく働くことができました。バイト用語を覚えたり、レジの操作を学んだり、新しいことにたくさん挑戦しました。日本人だけでなく、ミャンマーやベトナムなどさまざまな国の人とも接することができ、とても新鮮でした。長時間立ちっぱなしで疲れることもありましたが、日本人の実生活を間近で見ることができて、本当に興味深い経験でした。

私は読書が好きなので、音羽館の1階にある本棚の本を読んだり、いくつかのブックオフに足を運んでたくさ

ん本を購入したりしました。日本語の小説を読むことで、日本語力の向上にもつながったと感じています。

留学生活がまもなく終わると思うと、少し寂しい気持ちになりますが、ここでの生活は素晴らしい思い出となり、きっとずっと心に残ることでしょう。

